

# 水田農業高収益化推進に向けた情報収集と課題整理

園芸作物等の生産及び流通状況を情報収集し、水田農業高収益化推進の課題等を整理することで今後の方向性を検討

## ○ 施策分類

その他（生産振興・技術対策）

## ○ きっかけ・背景

福井県は耕地面積の9割が水田であり稲作を中心とした経営が主となっている。稲作中心の生産構造に加え野菜等の収益性の高い作物を導入し、より所得の高い生産構造に転換を図っていくことが重要であることから高収益化を推進するため、取組等の情報収集をすることとした。

## ○ 取組の内容

福井県における園芸作物等の生産及び流通状況を把握するため、農業者、県、JA、実需者（卸売業者、仲卸業者、スーパー）等との意見交換を実施し情報収集した。

## ○ 課題と今後の方向性

### 【課題】

- ・ ほ場条件や気候変動により園芸で大きな産地を形成していくのは難しく、水田地帯で園芸作物を生産するためには排水対策、土壌入替等の相当な整備費用が必要。
- ・ 産地化の推進に当たっては核となるまとめ役（牽引組織）が不在のように思われ、このため製品の品質の統一や安定供給を図る仕組みが整わない。加えて水田中心の県なので農業者の園芸に対する意識が希薄に感じるという声が聞かれた。

### 【県拠点における今後の方向性】

- ・ 園芸作物生産に適した農地において産地化が図られるようコアパーソンに対し意見交換を実施していく。
- ・ 園芸の産地化が見込まれないようであるならば非主食用米の推進を図り土地利用型農業を維持していく方向。



意見交換の様子

## 体制図

